

令和5年度 第4回宇和島市地域公共交通活性化協議会

議 事 要 旨

日時 令和6年1月24日（水） 14時00分～15時30分

場所 宇和島市役所 602会議室

出席 （委員） 玉田委員、宮本委員、浅野委員、武田委員、船田委員（WEB）、田崎委員、田中委員（代理）、松本委員、高瀬委員、二宮委員、一色委員（WEB）、菊池委員（WEB）、弓削委員、窪委員（WEB）、二宮委員（代理）、山口委員、竹内委員（新規）（順不同、敬称略）

（オブザーバー）愛媛県南予地方局地域産業振興部地域政策課 須山課長

（事務局）宇和島市企画課：木原、末廣、牧野、古田

（委託業者）株式会社 長大

1 開会

2 開会あいさつ

3 （1）協議事項

第1号議案 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
（地域内フィーダー系統確保維持計画）

・事務局より令和5年（令和4年10月1日～令和5年9月30日）の事業評価について説明。

・質疑応答

（委員） 施設入所で乗られる方の変動があり伸びていないところや、川平線のように、バス停を新設したら利用が伸びたところもある。今後、路線を見直す際にはアンケート等を活用して、住民ニーズに合った形で進めて頂きたい。

（委員） 今後の改善は、アンケート結果や地域の要望などを踏まえ見直していきたい。

・質疑応答後、拍手による採決を行い、賛成多数により承認。

第2号議案 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）に関する事業評価について（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）

・事務局より事業評価について説明。

・質疑応答

(委員) 福祉タクシーの導入前後の利用者数をみると、導入後に上回っている状況であった。

・質疑応答後、拍手による採決を行い、賛成多数により承認。

第3号議案 津島地区コミュニティバス路線の延長（須下線）について

・事務局より路線延長の概要について説明。

・質疑応答

(委員) 津島地区のコミュニティバスの路線の延長について、運行時間が変更となるので地域住民に周知等を行い、4月からの円滑な運用をお願いしたい。

(委員) 地元の方と十分調整をして、取り組んでいきたい。

・質疑応答後、拍手による採決を行い、賛成多数により承認。

第4号議案 宇和島市地域公共交通計画の素案について

・事務局より計画の概要について説明。

・質疑応答

(委員) アンケート調査結果 P21 の今後の公共交通の利用について、現在は利用していないが将来は利用したいと思っている方が全体で43.3%である。その方々に細々とでも利用いただけたら本当にありがたい。回答した人の年齢は分かるのか。将来利用したいのが1年後なのか、5年後なのか知りたい。

(事務局) 年齢層のデータもあるので、集計することは可能である。後日、提供させていただく。

アンケート回答者の年齢構成があるので、クロス集計はできる。現在、公共交通を使っている方も含めて、60～70代の方でほぼ半数以上となっており高齢者が多い状況か。

(委員) アンケート回答者の年齢構成があるので、クロス集計はできる。現在、公共交通を使っている方も含めて、60～70代の方でほぼ半数以上となっており高齢者が多い状況か。

(事務局) 一般的には公共交通のアンケートでは、若い方の回答はほぼないが、今回のアンケートはWEB回答も平行して行ったため、10～30代の若い方の意見が比較的含まれている状況。

(委員) 課題の整理については、なかなか難しい内容ばかりであるが、現在の宇和島市の課題として認識したい。

(委員) 計画の目標について、地域モビリティの目標は3地区とあるが、想

定されている地区はあるのか。

- (事務局) 現在、戸島地区で実証運行を行っており、地元からの要望により、来年度、本格導入する予定が1地区。日振島地区からの要望により、当初予算の要求中で、来年度、実証運行の準備中が2地区目。蔣淵地区からも要望があり同じような取組ができないか、住民の方と協議をしている段階のものが3地区目である。
- (委員) 地域モビリティを導入するには、地域づくり協議会などをつくり要望すればよいのか。三間の音地地区などは、導入可能なのか。
- (事務局) 受ける側の制約はなく、NPO法人、自治会など何らかの地域団体であれば要望はできる。ただし音地地区のように現在、コミュニティバス運行地域では、まずはコミュニティバスの利用を推進している。地域モビリティの導入は、公共交通のない地区を対象にしている。
- (委員) 旧計画では、タクシー活用制度の構築があり、タクシー救援事業を行うことになっていたが無くなっている。タクシー事業者は運転士確保が難しい状況で、事業の存続が大変なのではないか。救援事業は、行政から補助を受けながら実施されていたと思うが、本計画で無くなった理由を教えてください。
- (事務局) 旧計画でタクシー活用制度の構築事業を5年間実施したが、実際の取組ができなかったこともあり、タクシーについては免許返納と運転士等確保に向けた取組に注力したいと考えている。これまで救援事業に使った補助等は、免許返納者へのタクシーや路線バスの運賃割引や特典に使うことで利用促進につなげていきたい。
- (委員) 地域公共交通を維持するためには、多くの人に乗ってもらう必要があり、対象者として外国人観光客が考えられるが、目標の中に入れたらどうか。
- (委員) 路線バスの路線の案内としてナンバリングがあるが、外国人への対応は入っているのか。
- (事務局) 目標1-1公共交通の分かりやすさの向上の事業に、路線のナンバリングや色分けにより、路線の分かりやすさを目指している。それは外国人対応にも該当すると考えている。
- (委員) 宇和島自動車では、2月から路線バスのナンバリングを開始する。見やすくなっていると思うので、ぜひ利用して頂きたい。
- (委員) 宇和島自動車の路線バスだけでなく、鉄道などでも必要ではないか。
- (委員) ナンバリングなど国際化に対応する内容を、計画の中にきちんと位置づけるべきではないかとの意見である。実際、宇和島市では多言

語化が進んでいないので、計画にもう少しはっきりと記載できないか。

広域交通結節点の2地点は、市内全域の乗継時刻表の掲示でよいと思うが、最近は二次元バーコードの掲載でこと足りる人も増えてきている。目標の2地点だけやればよいというような表現ではなく、もう少し分かりやすくできないか。

(事務局) 利用者の多い広域交通結節点では、市域内を広く案内する掲示を行い、その他の拠点では二次元バーコード等を検討したい。

(委員) 1-1-1の公共交通の分かりやすさの向上の目標について、事業①の乗り方教室等の開催年5回としているが、事業②～④を追加して目標にしてもよいのではないか。

1-2-1の目標について、広域結節点以外の拠点も対応するようにしたらどうか。

2-1-1の地域モビリティの目標について、地区数以外で、集落カバー率を目標値に定めることができるので検討したらどうか。

2-1-2の公共交通の広報の目標は3種類とあるが、想定されているのか。また、広報の対象を市民と記載されているが、コミュニティバス利用範囲の特定の場所の市民ということか。

2-2-2の多様な移動手段の活用に関する取組について、検討する内容に関わる目標を検討いただきたい。

問題点や課題から、事業の繋がりを意識しながら取組を進めていただきたい。また基本理念にそって取り組むためには、1-3の公共交通の維持・利用促進が特に重要と思うので、引き続き取組んでいただきたい。

(事務局) 1-1-1は、他の目標値を追加できないか検討する。

2-1-1は、集落のカバー率について、まずは集計できるかどうかを含めて検討する。

2-1-2の広報は、紙面、WEB、施設への配置の3種類を想定している。利用可能な新たなツールがあれば、活用しながら広報に努めていきたい。

(委員) 2-2-1、2-2-2の目標は検討回数であるが、分かりにくいので具体的な目標に修正する。

事業14と事業15の内容は分かりにくい。図に示されたものを順に行うのか、包括的に行うのか分からなかった。具体的な成果は出すのか。

(事務局) ライドシェアなど新しいものも含めて検討する予定であり、交通事業者やその他民間施設等との話し合いも必要と考えている。

(委員) 24年問題に向け、鉄道とバスの運転士募集に取り組んでいるが、人

材不足が深刻である。ライドシェアなどを検討する前に、今ある鉄道、バス、タクシー等、公共交通を使って残していくことが基本と考える。

市民アンケートでは、将来は利用するかもしれないとの意見が多かったので、マップ作成の際には、この便に乗ればここまで行けるなど、モデルケースを記載するのも一つの方法だと思う。例えば、乗車時にスタンプを発行して、何回か乗ると特典があるなど工夫してはどうか。

現在、県内のタクシーの撤退やバスの減便が進んできており、今後、自家用有償運送やタクシー規制緩和が行われる。新しい取組をされる時は是非、事前にご相談いただきたい。

(委 員) いろいろなご意見をいただき、どこまで反映できるのか検討していきたい。

・質疑応答後、拍手による採決を行い、賛成多数により承認。

・その他

質問・意見なし

4 閉会